

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生体計測装置学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時間	後期	教室名	臨床工学実習室
担 当 教 員	新井篤史 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部附属病・松江赤十字病院・安来市立病院で臨床工学技士として勤務			
《授業科目における学習内容》						
循環器系、神経・筋系、呼吸器系計測機器および医用画像機器を用いて、人の構造および機能の理解を深め、操作、保守管理の実習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート評価(70%)、平常点(30%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床工学講座 生体計測装置学						
《授業外における学習方法》						
講義で学んだ事柄を理解し、実際の測定機器の理解を深め、機器の原理・特性と必要性を調べておく						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習を通じての到達目標	脳波測定について理解し説明できる		臨床工学講座 生体計測装置学	脳波測定の必要性を調べておく	
	各コマにおける授業予定	脳波測定について				
第2回	演習を通じての到達目標	脳波計を使用し測定できる		臨床工学講座 生体計測装置学	脳波計の使用方法を調べておく	
	各コマにおける授業予定	脳波測定 ①				
第3回	演習を通じての到達目標	脳波計を使用し測定できる		臨床工学講座 生体計測装置学	脳波計の使用方法を調べておく	
	各コマにおける授業予定	脳波測定 ②				
第4回	演習を通じての到達目標	血液ガスについて理解し説明できる		臨床工学講座 生体計測装置学	血液ガス測定の必要性を調べておく	
	各コマにおける授業予定	血液ガス装置について				
第5回	演習を通じての到達目標	血液ガス測定を行うことができる(擬似血液)		臨床工学講座 生体計測装置学	血液ガス装置の使用方法を調べておく	
	各コマにおける授業予定	血液ガス装置実習 ①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	血液ガス測定装置のメンテナンスが理解でき、説明できる	臨床工学講座 生体計測装置学	血液ガス装置の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	血液ガス装置実習 ②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血液ガス測定装置のメンテナンスが理解でき行うことが出来る	臨床工学講座 生体計測装置学	血液ガス装置の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	血液ガス装置実習 ③		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	心電図について理解し説明できる	臨床工学講座 生体計測装置学	心電図測定の必要性を調べておく
		各コマにおける授業予定	心電図について		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	心電図計を用い測定できる	臨床工学講座 生体計測装置学	心電計の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	心電図実習 ①		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心電図計を用い測定できる	臨床工学講座 生体計測装置学	心電計の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	心電図実習 ②		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	エコー検査について理解し説明できる	臨床工学講座 生体計測装置学	エコー検査の必要性を調べておく
		各コマにおける授業予定	エコー検査について		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	エコー装置を用い臓器を測定できる	臨床工学講座 生体計測装置学	エコー装置の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	エコー実習 ①		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	エコー装置を用い臓器を測定できる	臨床工学講座 生体計測装置学	エコー装置の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	エコー実習 ②		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	エコー装置を用い臓器を測定できる	臨床工学講座 生体計測装置学	エコー装置の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	エコー実習 ③		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	エコー装置を用い臓器を測定できる	臨床工学講座 生体計測装置学	エコー装置の使用方を調べておく
		各コマにおける授業予定	エコー実習 ④		